

食の地域づくり資料 紹介取組事例

1.「宿儺かぼちゃ」は、ワークショップに、行政、議会、生協、バイヤー、マスコミ、料理学校（江上料理学院）、地元加工業者、JA、地元ホテル、地元高校、太田市場、海外イタリア食品会社（イーターリー）なども連携した取り組みです。

参考文献：「地域の食をブランドにする！ 食のテキストを作ろう」(岩波ブックレット)



「宿儺カボチャの物語」 食のテキスト

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/data/workshop/pdf/workshop2009040802.pdf>



2.「さいたまヨーロッパ野菜研究会」は、行政、種苗会社、流通業、レストラン、加工業者、飲食店、JA、映画会社、太田市場、メディア連携です。

参考文献：

「田舎の力が 未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革」(合同出版)



[👉 ホームページ](#)

「いろいろどりのヨーロッパ野菜が食卓を飾る」 特集

<https://wan.or.jp/article/show/7646>



3・「おおむら夢ファームシュシュ」は、県・市・J A・地元農家、農業法人協会、農水省・地域活性化センター、農家民泊、地域ホテル、酒造会社連携です。

参考文献：『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK生活人新書)



🏠ホームページ

長崎県「おおむら夢ファーム シュシュ」山口幸子さん

<https://wan.or.jp/article/show/7172>



4・愛媛県今治市「さいさいきてや」。J A，漁業組合、農家、行政、地元加工業者、都内大手ホテル、地元加工業者、地元レストラン、学校給食、地元ホテル、連携事業。

参考文献：

『幸福な田舎のつくりかた:地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版)



🏠ホームページ

愛媛県今治市の直売所「さいさいきて屋」菅真紀さん。

<https://wan.or.jp/article/show/7065>



5・「井上農場」は、地元酒造会社、イギリスの日本商社、都心のデパート、地域レストラン、有名レストラン、養鶏会社の連携。スマート農業で大手機械メーカーが入っています。



👉ホームページ



農業のカリスマ・井上農場 新聞記事

6・「道の駅 ましこ」は、森林組合、デザイン会社、左官組合、農家、料理店、地元陶芸会社、地元飲食店、国土交通省、加工会社、連携です。



👉ホームページ

7・和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」は、大学、行政、金融機関、地元観光協会、地元事業者連携事業。参加メンバーは20代から40代で、地元で創業意思のある若手メンバーを行政がすべて面接し、農業、林業、商店、加工、工務店、流通、空き家対策など、他業種連携になるよう選抜方式。連携する観光協会は多言語対応でインバウンド対応。



👉ホームページ



👉たなべ未来創造塾レポート

8・「gochi 荘」、大阪経済産業省、関西自治体、地銀、自治体などの支援事業。
U I ターンで古民家と地域資源の連携による農家宿泊観光。地元の飲食店、酒蔵、
直売所、商店、などをすべて連携。インバウンド対応で多言語対応。

おいしい食体験ができる宿」

「新しい旅と観光スタイルを生み出した「gochi 荘」岡田奈穂子さん



(パート1)



(パート2)



👉ホームページ

9・イタリア・アグリツーリズム。政府、行政、大学、金融機関、商店、
加工業者、観光、特産品、体験教室、広域連携、多言語対応。

参考文献：『里山産業論「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)



👉アグリツーリズム・イタリア・ホームページ

10・「道の駅 むなかた」。行政、漁業組合、J A, 地元加工業者、地元デザイン会社、水産高
校、水産センター連携。

参考文献：

「美味しい田舎のつくりかた：地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す」(学芸出版)



👉ホームページ

漁師直行超鮮度の魚がならぶ「道の駅むなかた」・伊藤美幸さん

<https://wan.or.jp/article/show/7880>



●事例集『田舎の力が未来をつくる!』特別寄稿自然な農と食を活かした地域活性化

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n53283.html> 写真は「道の駅ましこ」



実践セミナー開催

●8月30日 令和5年度 第1回農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー
「農家経営に欠かせないイタリアのアグリツーリズム!」

https://www.kouryu.or.jp/information/20230515_3114/

講師:岡崎啓子さん(GEN Japan/JINOWAconsortium メンバー)



●10/6(金)～7(土)地方創生実践塾開催。長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/yotei/yoteidetail.php?&no=1193&a=1>



●金丸弘美は、総務省、内閣官房、農水省の人材派遣事業に登録されています。
直接、現地に行ってアドバイスをすることができます。

内閣府派遣事業

金丸弘美は内閣府の「地域活性化伝道師」に登録されています。
地方自治体が金丸を指名すれば「外部専門家」として現地に赴き
アドバイスをを行うという制度です。

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/ouentai.html>



総務省派遣事業

金丸弘美は総務省「地域人材ネット」「総務省地域力創造アドバイザー」に登録されています。

地方自治体が金丸を指名すれば「外部専門家（アドバイザー）」として
年間5回以上のアドバイスを伺うという制度。最長3年。

<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>



農林水産省地産地消コーディネーター

金丸弘美は農林水産省の「地産地消コーディネーター」に登録されています。

地方自治体が金丸を指名すれば「外部専門家」として現地に赴き
アドバイスをを行うという制度です。

給食・病院食などの地場産活用を推進する事業です。

<https://www.kouryu.or.jp/service/chisanchisho.html>



参考資料・「高知県観光特使名刺」 希望の方に名刺を差し上げています。大好評です。

裏は高知県文化施設の無料入場券。牧野植物園をはじめ、高知城、坂本龍馬記念館など19か所が、5名まで無料で入れる入場券となっています。



高知県は高知県の振興・紹介などに貢献した人を「高知県観光特使」として名刺を作成しています。観光と連動しています。毎年、テーマがありデザインも変わります。

令和5年度名刺はNHK朝ドラ「らんまん」と連動。主人公は高知出身の植物学者・牧野富太郎博士がモデル。名刺の表のQRコードを読むと、牧野植物園、牧野富太郎の故郷、花のイベント、食べ物ガイド、高知のマップ、県外のイベントなどを見ることができます。

●名刺のことは有川ひろさんの100万部のベストセラー「県庁おもてなし課」（角川書店）に登場。巻末に座談会、有川ひろさん、県庁職員、金丸弘美が収録されています。

●「県庁おもてなし課」（現在、おもてなし室）は高知県庁に実在します。



「県庁おもてなし課」有川ひろ著（角川書店）表紙

[高知県観光博覧会 牧野博士の新休日 | 高知県観光情報 Web サイト「こうち旅ネット」\(kochi-tabi.jp\)](http://kochi-tabi.jp) 高知県が観光特使に配布しているガイドブック。QRコードからも見れる。



牧野富太郎博士は東京都練馬区に住んでいたことから高知県と共同キャンペーンが展開中。
名刺のQRコードから牧野富太郎の都内の植物園を紹介



阪本龍馬ゆかりの地を巡る「しながわ観光協会」

品川区は平成30年、明治維新150年を契機に歴史的にゆかりがある高知県と「特別区全国連携プロジェクト」の一環として連携・協力に関する協定を締結しています。



(金丸弘美のホームページです)